

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

広中央中学校区 校番4 学校名 呉市立広中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・実力テストの底上げをどうするのが課題。 ・実力テストについて、高得点の生徒の人数に対し、点数の低い生徒の人数が多く、それが点数に反映されているように思う。 ・確かな学力の定着と働き方改革の2点については難しさを感じる。
目標達成のための方策の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・来客等への挨拶が見られなくなっている。 ・基本中の基本である挨拶、行動、返事、整理整頓をいまさら指導しない落ちけないことに疑問符がつく。 ・猛暑で体育の授業が計画通りに行えなかったと思う。このことが体力不足へ影響しているのではないのでしょうか。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を見つめなおすことにより、周りとの協調性ができることを期待しています。 ・合唱コンクールでは、各学年が心を一つにして合唱している姿はとても感動しています。
今後の改善策(案)の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の定着に学校がどうすることが良いのか。生徒個々に目標を持たせ、それを達成するためのサポートが必要。 ・今年の体育大会は、生徒のアイデアから例年と違った競技も見られ、楽しませていただいた。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力、体力については、家庭の教育環境、コロナ禍での特殊な状況も影響しているかもしれず、すべてを学校の取組に帰結することはできないと考える。 ・全国学力テストをせめて、平均に近づけるために、例えば小テストを繰り返し学習するなどして、基礎学力を上げる努力をしてほしい。 ・学校運営、大変と思いますが、学校一丸となって頑張っていたきたい。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年もあったように、学習規律マニュアルの徹底を行う中で落ち着いて授業を受けられる雰囲気に取り組む。 ・個人個人をリスペクトして、お互いを尊重できる学校にしてほしい。
--------------------	--